

家畜衛生だより



令和3年4月第4号(豚)
東部・北部家畜防疫獣医師会
(公社)千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL: 0475(52)4101
FAX: 0475(52)3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

ゴールデンウィークに備え防疫対策の徹底を！！

一昨年発生が確認された新型コロナウイルス(COVID-19)の人への感染が世界的に拡大、継続しており、各国・地域で海外渡航の自粛等、感染拡大を防止する措置が取られ、人・モノの移動が減少している状況ではありますが、引き続き家畜伝染病の病原体の侵入防止のため、防疫対策を徹底しましょう。

引き続き、飼養衛生管理の徹底をお願いします！

1 海外渡航の自粛！

アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航は自粛しましょう！

2 立入者衣服交換！手指消毒！

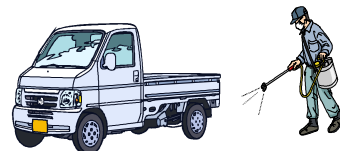
衛生管理区域に入る人は専用衣服と長靴を着用し、手指の消毒を徹底しましょう！

3 野生動物の侵入防止！

適切な防護柵、防鳥ネットを設置しましょう！定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行いましょ。

4 毎日の健康観察！早期発見及び早期通報！

異常を認めたら、直ちに当所に通報してください！



新たにマレーシアでのアフリカ豚熱の発生や、動物検疫所の検査により輸入が認められなかった豚肉製品から遺伝子が検出されるなど、アフリカ豚熱の侵入リスクは依然として高い状況です。また、中国では先月に豚で口蹄疫(O)型が確認されました。国内では、昨年9月の群馬県での豚熱発生以降、ワクチン接種農場で9件豚熱が発生しています。ワクチンのみで豚熱の発生を抑えることは困難であることから、ワクチンを接種した農場でも引き続き警戒いただくと共に、飼養衛生管理基準の徹底等により、発生予防対策に万全を期すことが不可欠となります。

PED発生状況

確定診断日	発生農場	症状
4/22 (31例目)	県北東部 約800頭飼養の肥育農場	肥育豚の黄色水様性下痢

疑わしい症状を見つけたら、直ちに通報を！！

再度、ご確認ください！

豚熱・アフリカ豚熱の特定症状

- ①耳翼、下腹部、四肢等に紫斑がある
- ②同一の豚房・豚舎内で、以下のいずれかの症状を示す豚が概ね1週間の間に増加している
 - (1)40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
 - (2)便秘、下痢
 - (3)結膜炎(目やに)
 - (4)歩行困難、後躯麻痺、けいれん
 - (5)削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚)
 - (6)流死産等の異常産の発生
 - (7)血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血・血便
- ③同一の畜舎内で、概ね1週間の間に複数の繁殖豚または肥育豚が突然死亡すること
- ④[血液検査を実施した場合]
同一の豚房・豚舎内で複数の豚が白血球の減少(1万個未満/ μ l)また好中球の核の左方移動が確認されること

※これらの症状が必ず出るとは限りません。

過去にも、症状があまりでない事例や、神経症状や腹式呼吸がみられたことから当初は他の疾病(PRRS やレンサ球菌症等)を疑っていた事例があります。



定期報告書をまだ出していない方は、提出をお願いします！

豚の健康状態には常に注意し、疑わしい症状があればすぐ獣医師や家畜保健衛生所に連絡をしてください。

東部家畜保健衛生所 Tel.0475-52-4101 Fax.0475-52-3335

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください